

ドラッグインフォメーション

平成 26 年 3 月改訂

販売名	酒石酸「コザイカイ・M」		発売	吉田製薬株式会社	
局方名	日局 酒石酸		製造販売	小堺製薬株式会社	
洋名	Tartaric Acid		発売年月	1949年8月	
一般名	酒石酸		薬価収載年月	1950年10月	
剤形	散剤		薬価	10g 27.20	健保適用
規制区分	普通薬		日本標準商品分類番号	8 7 7 1 4 9	
厚生労働省薬価基準収載医薬品コード	7149009X1071		YJコード	7149009X1071	
構造式	構造式： $\begin{array}{c} \text{HOOC}-\text{CH}-\text{CH}-\text{COOH} \\ \quad \\ \text{OH} \quad \text{OH} \end{array}$ 分子式： $\text{C}_4\text{H}_6\text{O}_6$ 分子量：150.09				
性状	無色の結晶又は白色の結晶性の粉末で、においはなく、強い酸味がある。 水に極めて溶けやすく、エタノール（95）に溶けやすく、ジエチルエーテルに溶けにくい。 本品の水溶液（1→10）は右旋性である。				
組成	本品 1g 中に、日局酒石酸 1g を含有する。				
効能効果	緩衝・矯味・発泡の目的で調剤に用いる。 また、リモナーゼ剤の調剤に用いる。				
用法用量	緩衝・矯味・発泡の目的で調剤に用いる。 また、リモナーゼ剤の調剤に用いる。				
使用上の注意	副作用 大量はアシドーシス、腎障害を起こす。				
体内薬物動態	生体内では不活性で、イヌ又はウサギに投与すると 74~99%が未変化体のまま排泄される。ヒトに 2g を経口投与すると約 20%は尿中に未変化体として排泄され、残りは吸収されずふん便中に排泄される。また非経口的に投与すると未変化体のまま定量的に排泄される。				
非臨床試験	急性毒性：LD ₅₀ （経口投与）マウス 4360mg/kg イヌ 5000mg/kg 亜急性毒性： イヌに酒石酸を 990mg/kg/日の量を与えたところ、90 日から 114 日のうちに尿円柱が生じ、90 日に死に至った動物に窒素血症がみられた。 慢性毒性： ラットに酒石産を 0.1%、0.5%、0.8%及び 1.2%添加した飼料を 2 年間与えたが、異常は認められなかった。 動物での吸収・分布・代謝・排泄： イヌ又はウサギに投与すると 74~99%が未変化のまま排泄される。				
取扱上の注意	貯法：密閉容器 配合変化： Ca^{2+} は難溶性塩を、 NH_4^+ 、 K^+ は難溶性の酒石酸水素塩を生じる。				
備考	包装単位：500 g	文献請求先	吉田製薬株式会社 学術部 東京都中野区中央 5-1-10		